

www.yokohama-tawawa.jp

166号

特定非営利活動法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

♪ いつの間にか春の足音 ♪

前向きに変える時へ



連日の大雪の便りには、本当に申し訳なくさえ感じておりますが、ここ横浜でも、お正月の暖かさの後に続く厳しい冷え込みは、身に堪えます。お陰様で、障害者たちは体調を維持し頑張ってくれております。皆さまはお元気でしょうか、ご案内申し上げます。

* 支える会の主な活動 *

* 毎週月曜日は、支える会家族会活動日

- 12月5日グループホーム職員会議
- 6日横浜市障害者の未来を考える集い
- 8日災害ボランティア連絡会イベント参加
- 10日「活動ホームしもだ」役員会
- 17日活動ホームしもだ事業
pm.活動ホームしもだ運会議営委員会
- 18日 am.グループホーム家族会
pm.YK会来訪イベント
- 21日区社協セイフティーネット役員会
- 26日 NPO 法人げんき理事会
- 1月9日 GH 職員会議
- 17日区社協理事会
Pm.しもだ合同家族会
- 18日区社協セイフティーネット定例会
- 19日GHを考える会
- 21日支える会理事会
- 22日 GH 家族会

支える会が出発してもうすぐ20年。その前の活動から数えると35年にもなるかという時の中で、今年はいつになく節目のようなものを感じております。

皆さまと共に、夢中で過ごしてきましたが、今ほど大変さを感じたことは無かったかもしれせん。

障害者問題と言えば、まず階段、トイレ、移動の問題、などいわゆるハード面でのバリアフリー、そして周囲の無理解な目。背中に子供を負いながら、バギーをたたんで手に持ち電車に乗って通った訓練施設。活動の資金作り。大変と言えば大変だったのですが、頑張る相手が見えていた。補助金が少なくて困れ

ば、手作りもし、不用品も集めてミニバザー、古紙の回収と力を合わせて子供と共に頑張ることができました。

それも、重い障害のある子供たちが、地域の中で安心して暮らすことが出来るように準備をしなければという一念で団結できたからです。

また、とにかく内に縮こまりがちな私たちも、まずたくさんの皆さんと協力体制を作り、皆で、理不尽な体制を変えて行こうと少しずつ進んできました。会員や支援団体の皆様一人一人のお力添えがあったればこそです。

それなのに今ここへ来て、ぶつかる壁は得たいがしれず、障害福祉のみならず、広くこの社会への人手不足は、とどまるところを知らず。イソップ童話にあるように、「ありさんで良かった！」と思える時代は来るのでしょうか。

◇前向きに変えよう！

ところで私たちの今年は、年号が変わる、制度が変わる、人が変わる、となにやかやとかわっていきそうです。しかし、少なくとも私たちの手の届く範囲では、安易に便乗するのではなく、私たちの考えるところで、前向きに変えていきませんか？

まずは、支える会の活動内容からです。「この際変えよう」ではなく、丁寧にリニューアル！という所でしょうか。障害者の加齢に伴う変化や、災害時に備えた研修も行っていききたいと思います。



◇YK会お久しぶり！

ありがとう！

12月18日、俳優の柴俊夫さんやせんだみつおさんなど、故桂敬金治さんゆかりのボランティアグループが、久しぶりに活動ホームしもだを訪れ、少し早いクリスマスイベントをプレゼント。ご寄付も頂戴しました。心のこもったひと時に感謝！



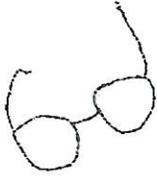
ありがとうございました

【ご入会・ご継続】 (敬称略)

松永重年 直井真紀子 高島幸子 松本直子 中山欽一

【ご寄付】

糊澤幸栄子様 箏曲花陽の会 (三上園東巳) 様



めがねの声

◆... !!!

毎年12月の障害者週間には、障害者や仲間たちが集まって、横浜市へ要望をしたり、皆で励まし合ったりする「障害福祉の未来を考える集い」があります。

今年は、港のそばの山下公園でした。海のそばに広々と広がる公園で、冬でも花が咲いていたりして、気持ちの良い会場です。もっと暖かい季節であれば、よつばの皆も来れたらいいなと思いました。

* * *

今年は実行委員会から、活動ホーム代表として「活動ホームしもだ」から、“仲間のアピール”として話すように言われました。

私はちょっと『困ったな...』と思って考えていましたが、せっかくの体験の機会なので、出ることにして、一緒に行った職員に、側で文を読み上げてもらいました。

アピール文の内容は、活動ホームしもだで毎日やっている活動の事や、一人一人の個性に合わせ、とくに重い障害者たちは、いつも体調の変化に注意していること。年齢が高くなるごとに風邪をひきやすくなったり体調がかわったりすること。障害の事をよくわかってくださる病院や先生がいれば安心な事などでした。

* * *

私はいつも思うのですが、私たちの言葉は、言語に障害のある人の場合、普段慣れない人にはわかりにくい場合もあります。“本人が話す”ということは、とても大切な事ですが、日常の会話の他にも会議などで皆に聞いてもらいたい時は、2回話す（1回はボランティアに助けてもらうなど）などの工夫が必要なのではないかとおもいます。

反対の意見の人もあると思いますが、重い障害の私としては、内容を理解してもらうことも大切なのではないかと思います。私は聞き取れない人の話も真剣に集中して聴くのですが、それでもわからない時は、心の中では「もう一度言って!」と思うのです。

私自身も、声に出すことさえ大変なのです。名前だけでも言いたいと思って訓練しましたので言いますが、でも、「おーあーあー」だけではわからないと思います。

今は、いろいろな訓練はやめて、文字盤を使って読み上げてもらったり、簡単なサインや手話（本格的なものは手や指にも障害があるのでできません）で伝えたりしています。

生の声では解ってもらえないし、でも解ってもらいたいし...。
だから、TAWAWAの【めがねの声】にちょっと書いたりしています。

大原友子

今月のよつばホーム&第2よつばホーム

平成最後のお正月も、あっという間に終わってしまいましたね。
寒さと乾燥が続いていますが、よつばホーム入居者のみんなも大きく体調を崩すことなく、年末年始を過ごすことができました。

世間ではインフルエンザが流行していますので、このまま平成最後の冬を乗り切りたいものです。

先日、晴れ着の新成人の一人団を見かけ、自分たちの成人式の事を懐かしく思い出しました。よつばホームが開所して17年半になろうとしています。少し先になりますが、よつばホームも元気に20年を迎えたいと思います。

では昨年末からのよつばホームの様子をご紹介します。



Birthday&X'mas♪



11月は第2よつばホームの章子さんと友子さんが誕生日を迎え、そして12月にはささやかなクリスマスパーティーを開きました。

誕生日にはバースデーケーキ！クリスマスにはごちそうが並びました♪

この日はいつもと雰囲気の違い、入居者のみんなも特別な日を感じていい表情しています。クリスマスにはケーキとたくさんの料理で楽しい夜となりました。

色々と多忙な師走でしたが、風邪を乗り切り良いお正月を迎えることができました様です。

初詣

よつばホーム入居者の年末年始は、実家へ帰り家族で過ごしたり、グループホームで過ごしたりとそれぞれ穏やかに過ごしました。

グループホームでお正月を迎えた入居者さんは近所へ初詣。

一年の感謝と新年の無事をお祈りしてきました。

神社は少し高台にあるので車いすを押して行くのはなかなか大変でしたが、お正月は連日天気にも恵まれ、高い所から見る景色はとてもきれいでした。

上り坂では何人か方に「手伝いましょうか？」と嬉しい言葉をかけていただき、ありがたかったです。ひいたおみくじの結果は今ひとつ？でしたが、何とも心地よい達成感を味わえました。今年もどうぞよろしくお願い致します。

